

マタイ 58

仕える者になりなさい

マタイ福音書23:1~12

偽りの教師・真実の師

Shikaoichurch.com



「先生と呼ばなければならない」

「先生と呼んでならない」

あなたはどうか答えますか？

仕える者になりなさい

①イスラエルの偽教師 23:1～12

②私たちの教師

③私たちの真実の師 まとめと適用



神殿で最後の吟味を受けるメシア

- 過越の祭りで祭司のためにささげられる特別な子羊。
その**吟味の期間**、メシアは神殿で**最後の論争**を受ける。
- ニサンの月の10日に、エルサレム入城。
翌11日、宮きよめ。
- そして、12日、神殿での激しい論争が
パリサイ派、サドカイ派、律法学者、祭司たちと勃発!!

メシアの地上生涯最後の長い論争の一日に、決着が!!

決着した論争

「するとだれ一人、一言もイエスに答えられなかった。
その日から、もうだれも、あえてイエスに質問しようとは
しなかった。マタイ福音書22:46」

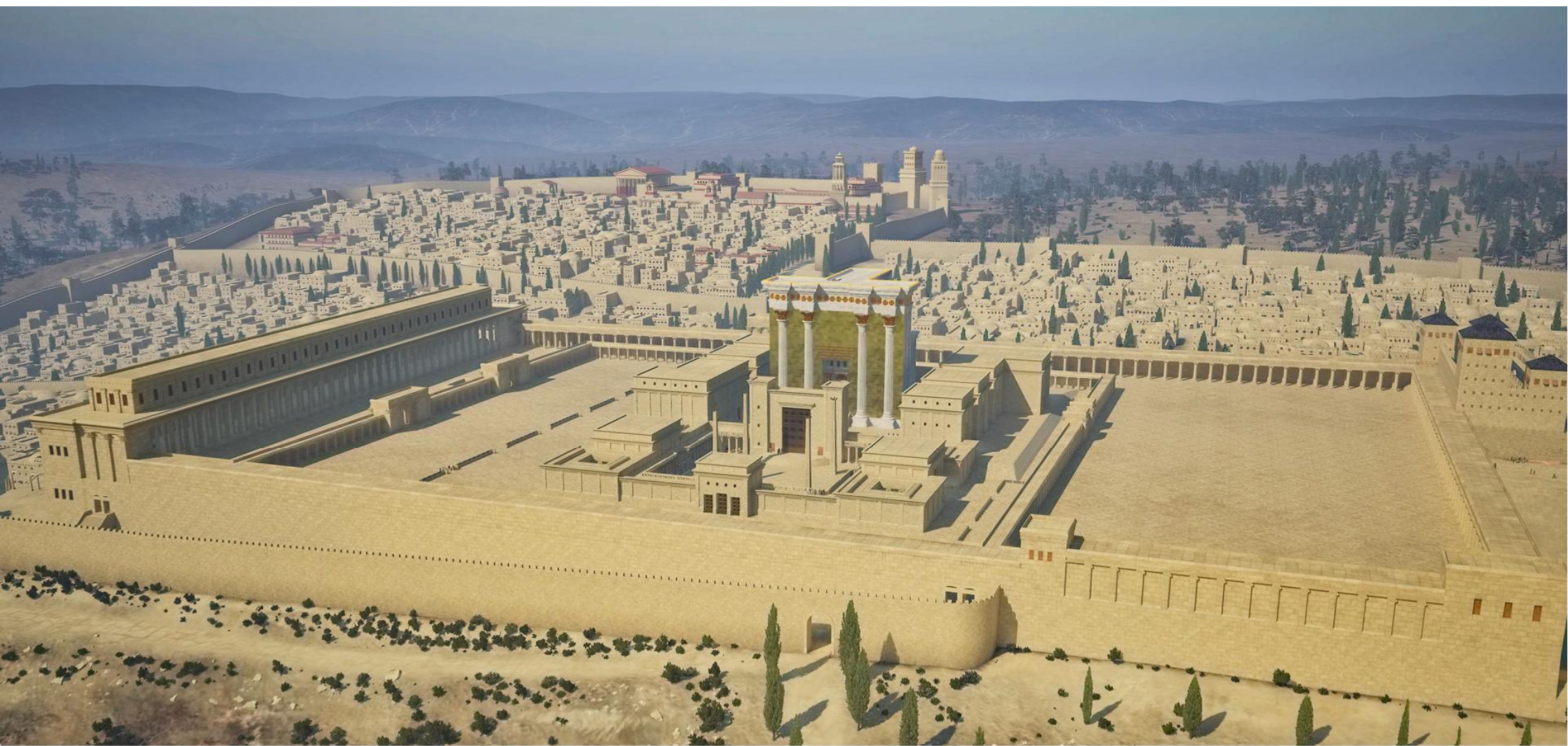
■ 論争は、メシアの完勝。

イエスには、非難される罪は一つも見いだされなかった。
イエスは、傷もしみもない、神の子羊。

メシアから、偽善者へ厳しい宣告が下される!!

23章 メシアによるイスラエルの罪と裁きの宣告

1～12	❶被告人の特定	イスラエルの宗教指導者 (イスラエルの代表者)
13～35	❷罪状	「わざわざいだ、偽善の律法学者、 パリサイ人」 …罪状の列挙
36～39	❸判決	「エルサレム、エルサレム」 エルサレム陥落(AD70)



①イスラエルの偽教師

マタイ23:1～12

エルサレム神殿・再現図

①偽教師

モーセの座 23:1～2

そのとき、イエスは群衆と弟子たちに語られた。

「律法学者たちやパリサイ人たちはモーセの座*に着いています。」

＊律法学者やパリサイ派が、会堂(シナゴグ)で、神の律法を教えた席。

メシアがモーセの座にいる者たちを裁かれる!!



モーセの座・コラジンの遺跡

①偽教師

誰が語ろうとも 23:3

ですから、彼らがあなたがたに言うことはすべて実行し、守りなさい*。しかし、彼らの行いをまねてはいけません。彼らは言うだけで実行しないからです。

＊律法学者、パリサイ派が、主の律法に基づいて命じることには従うこと!!

➡誰が語ろうと、神の言葉は神の言葉



①偽教師

口伝律法 マタイ23:4

また彼らは、**重くて負いきれない荷***を束ねて人々の肩に載せるが、それを動かすのに自分は指一本貸そうともしません。

＊口伝律法。

「長老たち(昔の人)の言い伝え」

…律法に人が付け加えた教え

■口伝律法でがんじがらめだった人々。

➡安息日論争。

麦の穂をつまんだ弟子を非難



①偽教師

小箱と房 マタイ23:5

彼らがしている行いはすべて人に見せるためです。
彼らは聖句を入れる小箱*を大きくしたり、
衣の房*を長くしたりするのです。

*テフィリン…額につける小箱

「聞け、イスラエルよ。【主】は私たちの神。
【主】は唯一である。申命記6:4」

*ツィツィヨット …タリートに下げる紐

「こうしてあなたがたが、わたしのすべての命令を
思い起こして、これを行い、あなたがたの神に対
して聖なる者となるためである。民数記15:40」



①偽教師

ラビ マタイ23:6～7

宴会では上座を、会堂では上席を好み、
広場であいさつされること、人々から
先生*と呼ばれることが好きです。

*ラビ…イスラエルの宗教指導者の呼称。



①偽教師

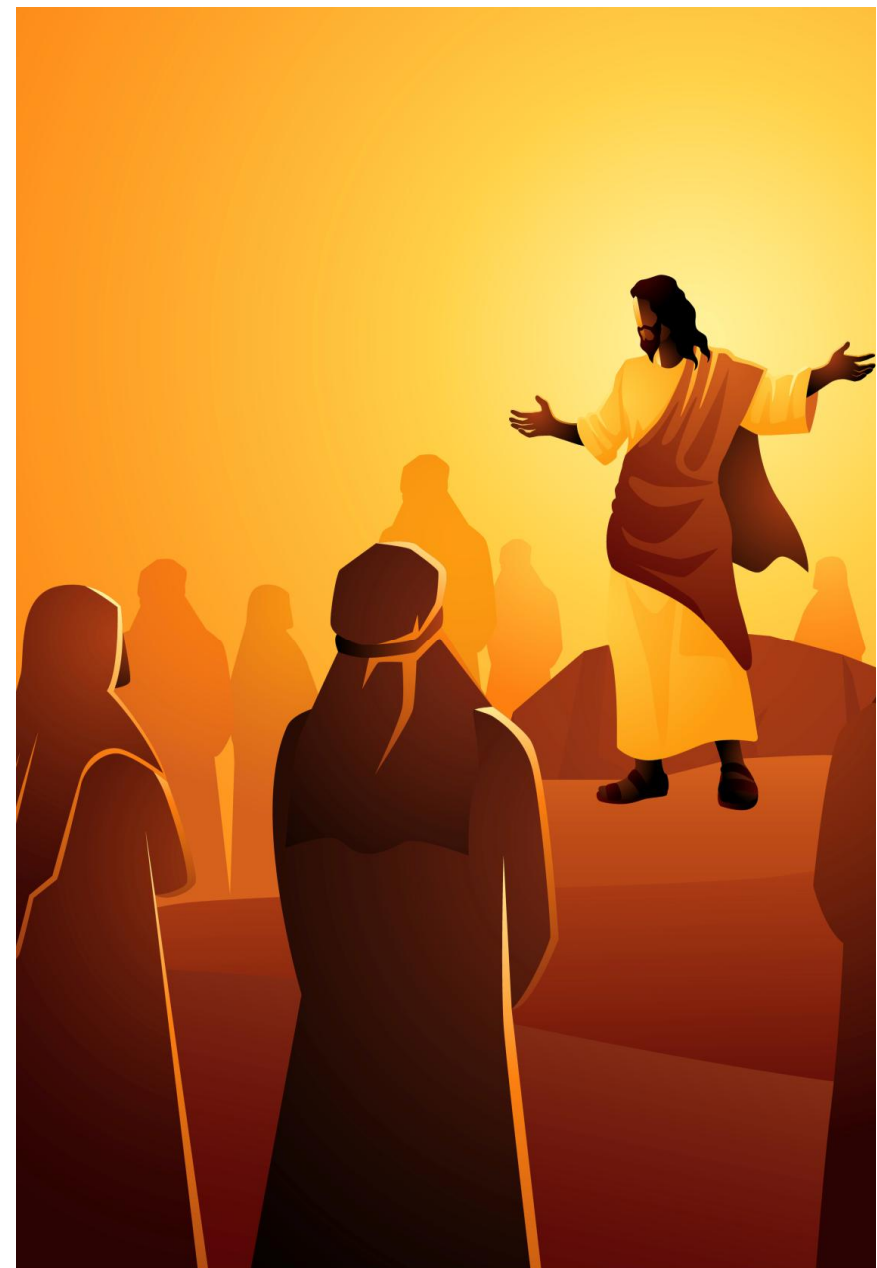
教師はただ一人 23:8

しかし、あなたがたは先生*と呼ばれてはいけません。あなたがたの教師*はただ一人で、あなたがたはみな兄弟だからです。

*ラビ …当時のユダヤ教教師の呼称

*ディダスカロス …一般的な教師

■弟子たちと教えを請う群衆の教師は、メシアである主イエスだけ。



①偽教師

真実の父、師 23:9～10

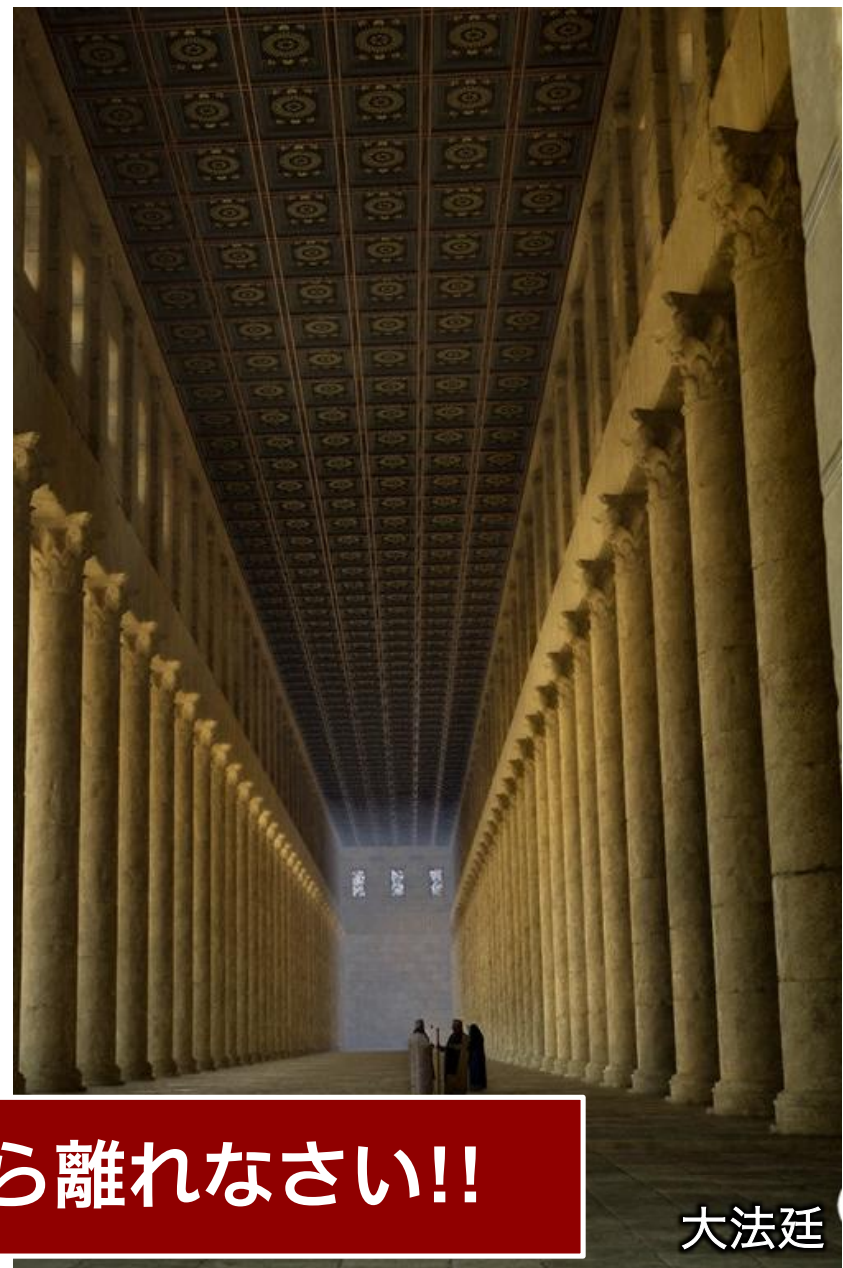
あなたがたは地上で、だれかを自分たちの父と呼んではいけません。あなたがたの父はただ一人、天におられる父だけです。

また、**師***と呼ばれてはいけません。あなたがたの師はただ一人、キリストだけです。

*カテレテス …このみ

■ 当時のラビは、父、師と呼ばれ、弟子に対して絶対的な権威を持っていた。

主の裁きを待つ被告人の偽教師から離れなさい!!



①偽教師

仕える者に 23:11～12

あなたがたのうちで一番偉い者は皆に仕える者になりなさい。

だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。

「こう言われた。「まことに、あなたがたに言います。向きを変えて子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。

ですから、だれでもこの子どものように自分を低くする人が、天の御国で一番偉いのです。マタイ18:3～4」



なお促される
悔い改め

①イスラエルの偽教師

■ 会堂の教師、律法学者、パリサイ人の罪

- ① 口先ばかりで、行いが伴わない。
- ② 偽りの教えで、人々を縛っている。
- ③ 神の言葉を利用して、人々を支配している。

■ 「あなたがたは、仕える者になりなさい」

➡ 非難で終わらない。一人一人に問われる悔い改め。

裁きの座に立たされた、偽教師から離れなさい!!



②私たちの教師

②私たちの教師

「先生」と呼んではならない?!

- 「先生」という呼称が禁じられていると主張する人々が!!
- 23章の「先生」はラビ。当時のユダヤ教の教師のこと。
 - ➡「“ラビ”と呼ばれてはならない」「ラビのようになるな」
口伝律法で人々を縛り、絶対的な力で支配。
- 日本語の「先生」は一般的な尊称。尊称は聖書にも。
 - ➡「テオフィロ様(クラティステ)」 …ルカ1:3
 - ➡「先生方(キュリオイ)」 …パウロたちに。使16:30
- 「先生、父、師と呼ばれるな」 …文字通りに適用すると？

「“ラビ”と呼ばれてはならない」 マタイ23:8

➡当時のイスラエルの宗教指導者に対する警告

①他の福音書にはない命令(重要な教えなら共通のはず)

②新約聖書全体でも、ここだけの命令

➡普遍的適用を促す箇所ではない

②私たちの教師

聖書における「ラビ」

■ 聖書における、“ラビ”

…マタイ4回、マルコ3回、ヨハネ8回、計15回

…新約聖書全体でも、“福音書のみ”

■ “ラビ”と呼びかけられている対象は？

…マタイ23章以外はすべて、イエスへの呼びかけ

イエスだけが、イスラエルの真実の“ラビ”

②私たちの教師

「ラビ」＝「先生」？

■ 弟子たちのイエスへの呼びかけの場面（ヨハネ1:38）

「ラビ（訳すと、先生*）、どこにお泊まりですか。」

＊ディダスカロス

…“先生、教師”（呼称・役職）

“ラビ”に馴染みのない異邦人信者への配慮
あくまで脚注。普遍的な適用はできない。

②私たちの教師

「先生」は、イエス以外にも

- ディダスカロス(先生・教師)は、イエス以外にも使用
 - ➡ 新約聖書・59回。福音書・49回。その他・10回
 - ① 福音書の対象は、ほとんどイエス
 - ② 他の書簡では、使徒や指導者
- 「…サウロなどの預言者や教師がいた。使徒13:1」
 - ➡ 異邦の地の最初の地域教会・アンテオケ教会には、教師(ディダスカロス)がいた!!

②私たちの教師

教会が定めた教師(先生)

「神は教会の中に、第一に使徒たち、第二に預言者たち、第三に**教師たち***、そして力あるわざ、そして癒やしの賜物、援助、管理、種々の異言を備えてくださいました。Ⅰコリ 12:28」

「皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が**教師***でしょうか。すべてが力あるわざでしょうか。Ⅰコリ 12:29」

■**ディダスカロス(教師・先生)***は、

聖霊の賜物によって教会に与えられた、第三の権威。
主が選ばれた者への限定された職務。

②私たちの教師 主が立てられた教師(ディダスカロス)

「こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。エペ 4:11」

「その証しのために、私は宣教者、使徒、そして、信仰と真理を異邦人に教える教師に任命されました。私は真実を言っていて、偽ってはいません。1テモ 2:7」

教師は、キリストの權威によって任命された者

②私たちの教師

主の権威ゆえの教師の重責

「私の兄弟たち、多くの人が教師になってはいけません。あなたがたが知っているように、私たち教師は、より厳しいさばきを受けます。ヤコブ 3:1」

■使徒パウロは、教師を自称＝「私たち教師(先生)は」

■教師には、主に託された権威の大きさゆえの重責が。

教師に求められるのは、「先生」と呼ばれる覚悟

②私たちの教師 書簡における教師(ディダスカロス)

- ラビとは明確に区別される。
- 教会のごく初期から存在。
- 聖霊の賜物を与えられた、第三の職務。
- キリストが立て、教会が任命した権威ある職務。
- 重い責任が伴う。
- 誰もが名乗るべきものではない。
- 自称、他称問わず、呼称としても認められている。

教師は、キリストが立て、聖霊が与え、教会が任命

②私たちの教師

牧師を先生と呼んでよいか？

- 牧師は、御言葉の教師・ディダスカロス。
- ディダスカロスは、先生。
- 教会の教師が、先生と名乗ること
教会の教師を、先生と呼ぶこと
→ どちらも聖書が認めている

牧師を先生と呼んでよい



まとめと適用

③ 私たちの真実の師

まとめ

イスラエルの真実の師

「また、**師***と呼ばれてはいけません。あなたがたの師はただ一人、キリストだけです。マタイ23:10」

***カテレテス** …新約聖書でここだけ

■ 私たちの真実の師は、イエス・キリストだけ!!

■ 教師は、主の教えを取り次ぐ者にすぎない。

御言葉によるすべての権威は、ただ主にある。

真実の唯一の師、イエス・キリストに従おう!!

適用

「先生と呼んではならない」という主張の問題

- 「先生と呼んではならない」➡新たな律法主義が生む矛盾
例)先生という呼称を禁止した、ある教団教区の実態
兄弟姉妹と呼ぶ教派でも、カルト的リーダーが!!
- 教師が、神にとって代わることは、罪。
教師の権威を否定、軽んじることも、また罪。
- 行きすぎた自由が、教会にも浸透、破壊をもたらす。
例)呼ばれたくない、が、求められる覚悟

主の権威を否定する放縦に気をつけよう!!

適用

自由な意志から生まれる、愛の関係性

- 「先生」と呼ばなければならない → これも間違い
- 兄弟姉妹と言うときに、求められるのは愛の関係性。
個々が主に従い、互いに愛し合う。呼称は自然に生じる。
例) ある人の呼び方の変化。子どもたちからの呼称。
- 大切なのは、主の権威に対するおそれ。
…「後の者が先になる」、信仰の逆転の原則も忘れずに!!

第一に、真実の師、主イエスをおそれ敬うこと!!

私たちの真実の師・主イエスに従おう!!

■ ピリピ人への手紙2:3～8

何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

★ 私たちの真実の主 ★

- 私たちの真実の師は、主イエス・キリストだけ。
- 教師が、神にとって代わることは、罪。
教師の権威を否定、軽んじることも、罪。
- 聖書を真実に学べば、必ずへりくだらされていく。
神と人に聴く者となっているか。例)子どもたちの信仰
押しつけではない、聴きあう愛の関係性を育んでいるか。

真実の師、主をおそれ、仕えあっていこう!!

「^{てん}天の^{とう}お父さま。^{わたし}私たちの^{つみ}罪をゆるしてください。

^{わたし}私たちは、^{かみ}神の^こみ子、^{しゅ}主イエス・キリストが、

①^{わたし}私たちの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死なれ、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活されたこと、^{しん}を信じます。

^{わたし}私たちの^{しんじつ}真実の^し師は、^{しゅ}主イエス・キリスト、この^{かた}方だけです。

^{わたし}私たちの^{しんじつ}真実の^{ちち}父は、^{てん}天におられる^{ちち}父なる^{かみさま}神様、あなただけです。

^{わたし}私たちは、^{しゅ}主に^{したが}従い、^{たが}互いに^{つか}仕えあい、^{とも}共に^{つか}遣わされます。

^{かんしゃ}感謝して、^{しゅ}主イエス・キリストのみ^な名によって^{いの}祈ります。アーメン」